



## 仲間との活動を通して、心が育つ！

南帷子小学校長 竹内 久美子

今年度は、運動会、社会見学、5年生の関研修、6年生の修学旅行を行うことができ、これらの活動を通して、子どもたちが様々な力を身に付けていると感じています。中でも、互いを応援したり励まし合ったりする姿、「一緒にやろうよ！」「手伝うよ！協力するよ！」と力を合わせる姿、心配な仲間に「大丈夫？」「話を聞こうか？」と声をかける姿など、仲間と関わる活動だからこそ生まれる「思いやり」の心が育ってきていると思います。

他にも、仲間と関わる活動がいっぱいありました。

◇1・2年生の「おもちゃランド」では、1年生を楽しませてあげようと、2年生がいろいろな工夫を凝らしておもちゃコーナーを準備しました。優しい声かけ、ゲームの盛り上げなど、いろんな場で2年生の「思いやり」の姿が見られました。招待された1年生は、どのおもちゃコーナーでも笑顔いっぱいでした。心を込めてお礼の手紙を書きました。

◇3年生の「南帷オリンピック」では、多様な種目で1組対2組の対決を行いました。各種目で出場してくる子たちはライバルですが、いい勝負になればなるほど、競技後に互いを讃え合って握手をする姿や拍手を送る姿が生まれ、温かい空気が流れていました。

◇4年生は、社会福祉協議会の方々の協力を得て、車イス体験やアイマスク体験、車イステニスやゴールボール体験を行いました。ロンドンオリンピックのゴールボールで金メダルを獲得した中嶋選手の本物のメダルを全員が触らせていただけたのもよい思い出になりました。障害があっても強く生きる選手の方々の姿から、障害のある方を「可哀そう」と思うのではなく、共に生きるために声をかけたり一緒に乗り越えたりすることが本当の優しさなのだと学んでいます。

◇5・6年生は、学校のリーダーとして委員会活動を頑張ってくれています。あいさつキャンペーンや大掃除の取組など、委員会の呼びかけのおかげで、学校生活もよりよく変化しています。先日、挨拶運動をしている生活委員会の子が、「校長先生、いつも大きな声で挨拶を返してくれる子が元気がないと、何かあったのかなあと心配になります。」と話してくれました。「そうですね。校長先生も同じことを思うよ。何か気付いたら教えてね。」と返しました。挨拶をしているかどうかを評価するだけでなく、その子の様子まで気にかけるようになった、この子の心の成長を嬉しく思いました。

周りの仲間の気持ちを考えないで、自分のことばかり主張しては、よりよい仲間関係を築くことはできません。今年度も残り3か月。一人一人の「思いやり」の心を引き出し、価値付け、自分のよさや仲間のよさを認め合って、共に歩んでいける子どもたちへと育てていきたいと考えています。

## 【家族団らんの冬休みに…】

今年は、13日間の冬休みです。家族団らんの時間を楽しんでください。令和4年を良い年にするために、いっぱい話して、いっぱい笑って、家族みんなのエネルギーをチャージしてください。

1月7日(金)、元気な子どもたちに会えることを楽しみにしています。



1・2年生  
おもちゃランド



4年生ゴールボール体験

